

## 恩師より 「着任当初の思い出を中心に」 室井 勝弥 先生

【1959(昭和34)年～1974(昭和59)年 保健体育】



最近の室井先生

大学卒業後すぐ着任したのが東住吉高校、保健体育教諭として、創立5年目の学校。先輩先生方も私と年齢差の近い方々が多く活気ある教員構成であった。初代校長の堀江先生は、新しい気風の学校作りを目指されてきた。

ユニークな行事への取り組みを柱に、先生方もその方針に則り一致団結懸命に取り組んだ。まず既存高校の多くが行っていた観光地巡りの修学旅行と異なり自然豊かな信州霧ヶ峰高原を中心とした山小屋泊とテント泊の生活、生徒達はもちろんの事私たち教職員にも思い出が数多い。学校倉庫には必要用具が保管され夏休みに入ると発送作業、現地では高原にテントを張りグループ単位に宿泊、早起き組の有志生徒達と山上に登り見た御来光に感激したものだ。飯盒炊爨(はんごうすいざん)、湿原散策、珍しい食虫植物の観察、キャンプファイヤー、フォークダンス等々山小屋泊も体験し最終日は諏訪湖近くの温泉宿に一泊、山での疲れを癒して4泊5日の修学旅行を終える。都会に住む生徒達にとって自然の素晴らしさを味わわせたいとの教育方針であった。

赴任1年目の体育祭での思い出の一つは生徒の中に混じり走り高跳び。夢中になり過ぎ、教師としての役割分担を怠り、後に反省した事も。四団に分かれた応援合戦、櫓(やぐら)建設も生徒たちの情熱を駆り立てた。グラウンドには公認250mトラックがあり運動部の中では陸上部が特に優秀だった。毎年近畿大会・全国大会へと出場し、東京オリンピック出場選手も後に輩出した。

円盤投げ・棒高跳び等当時体育主任だった保田先生の影響も受け教師としてのレパートリーを増やした。体操競技専門の私にはその後2校赴任したが、それぞれの学校でも授業に取り入れ指導した。体育館が出来上がるまでの一年余り体操の授業、マット運動は校舎3階屋上で行った。また週1程度放課後集まってきた生徒達と屋上でフォークダンスも楽しんだ。年齢差も少なかった私には想い出満載である。

現在八十路半ばを過ぎ5年前まで楽しんだテニスも、腰部の狭窄症で現在運動はしていない。地域の自治会役員、学童の下校時見守りボランティア、借り農地での野菜作りが日課となっている。15年間勤めて他校へ、やはり最初に勤めた学校での良き思い出は際限ない。東住吉高校の発展を願うばかりである。

● ● ● ひがしすみよし ● ● ●

● ● ● ひがしすみよし ● ● ●

### ヒガスミニュース

#### ■ 体育祭3年ぶり開催



2022(令和4)年5月21日(土)に体育祭が開催されました。2020(令和2)年からコロナ禍で中止を余儀なくされ(特に前年は延期の上で中止)、一般公開ではないものの3年ぶりの開催となりました。先輩たちからの伝承を引き継いだ現役生たちは見事に体育祭を謳歌していました。



#### ■ 一般公開は文化祭から

学校行事で2020(令和2)年以降、一般公開となったのは2022(令和4)年9月10日(土)の文化祭からとなりました。関係者だけでなく地域の方々にも参加しての催しは盛況をきわめました。

